

## <福岡県の環境について>

### 【調査の目的】

福岡県の環境のマスタープランである「福岡県環境総合ビジョン（第五次福岡県環境総合基本計画）」（※1）では、県民の皆さんと一緒に目指す5年後の姿を「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県～環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ～」と設定し、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の数値指標を設定しています。

これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターの皆さんの御意見をお聴かせください。

### 【活用状況】

環境総合ビジョンの進捗管理の一環として、環境へのニーズや満足度等を把握し、環境施策へ活用します。

（環境部 環境政策課）

### ※1 福岡県環境総合ビジョンとは

福岡県の環境行政の基本的な方向性を示すとともに、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指して、県民、事業者、行政など、全ての主体が環境について考え行動する際の指針となるものです。

詳しくは、下記を御覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-vision.html>

<1> 毎年6月は環境について考える環境月間であり、県でも街頭キャンペーンなどを行っていますが、6月が環境月間であることを知っていますか。

(n=379 選択は1つのみ)

知らない	299名	78.9%
知っている	78名	20.6%

無回答 0.5% (2名)

<2> あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

(n=379 複数回答可 回答件数=1,635)

身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	175名	46.2%
ごみが正しく管理・処理されていること	174名	45.9%
水が汚染されていないこと	146名	38.5%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	140名	36.9%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	135名	35.6%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	130名	34.3%
住まいの周りの静かさ	124名	32.7%
空気や空が汚染されていないこと	117名	30.9%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	67名	17.7%
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	66名	17.4%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	64名	16.9%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	61名	16.1%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	61名	16.1%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	57名	15.0%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	48名	12.7%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	47名	12.4%
環境について満足しているところはない	22名	5.8%
その他	1名	0.3%

無回答 0名 0.0%

[その他]

- ・ 安心して暮らせる環境に全くないです。

<3> あなたが普段生活している身の回りの環境について、この10年間で良くなったと感じるの  
 どのようなところですか。

(n=379 複数回答可 回答件数=2,030)

省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	324名	85.5%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	189名	49.9%
ごみが正しく管理・処理されていること	173名	45.6%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	167名	44.1%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	159名	42.0%
水が汚染されていないこと	140名	36.9%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	111名	29.3%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	103名	27.2%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	98名	25.9%
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	96名	25.3%
空気や空が汚染されていないこと	87名	23.0%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	85名	22.4%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	64名	16.9%
住まいの周りの静かさ	59名	15.6%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	58名	15.3%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	48名	12.7%
10年前とは違う地域に住んでいるので分からない	42名	11.1%
環境についてよくなったと感じるところはない	26名	6.9%
その他	1名	0.3%

無回答 0名 0.0%

〔その他〕

- ・ エコペットボトルなどが増え値段が安くなったが、ふにゃふにゃで使いにくい。

<4> あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満と感じるのはどのようなところですか。

(n=379 選択は4つまで 回答件数=941)

モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	161名	42.5%
空気や空が汚染されていること	94名	24.8%
省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	80名	21.1%
ごみが正しく管理・処理されていないこと	77名	20.3%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	75名	19.8%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと	61名	16.1%
水が汚染されていること	55名	14.5%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	52名	13.7%
住まいの周りの静かさが保たれていないこと	51名	13.5%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	43名	11.3%
日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	35名	9.2%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと	33名	8.7%
環境について、不安や不満と感ずるところはない	33名	8.7%
環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと	26名	6.9%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと	23名	6.1%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと	18名	4.7%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと	15名	4.0%
その他	9名	2.4%

無回答 0.0% (0名)

〔その他(抜粋)〕

- 再生可能エネルギーはある程度必要であるが、それだけで電力等を賄うことは不可能であると思う。太陽光パネルの劣化による大量の廃棄物が出る問題も含め、再生可能エネルギーにばかり資金をかけるのは無駄であり、それが環境問題への対策になるとは思えない。
- 原子力発電所に頼ったエネルギー供給が前提となっているところ。
- レジ袋の有料化等の規制の増加。太陽光パネルの増加で山地等の景観が損なわれた。脱炭素名目で火力発電の抑制のためだとは思いますが、これが先進国かと思うような電力不足の懸念。
- 環境を優先していれば良いという風潮。
- 私自身も最近知ったことなのですが、日本の火力発電は、他国と比べて二酸化炭素の排出量がとても少ないことが、自国ではあまり知られていないのではないかとこの点です。
- 山や水、農地の保全が十分でない。農業委員会が弱くなったように思う。だから、山も農地も水資源も売られて、ゴミが捨てられたり、山がはげるとような開発。買うのは日本人でも実際は日本人でないとの噂も聞こえる。水も山も公に守ってほしい。
- 野良猫がいて、フンなどで汚れる事
- 工場からの悪臭。

## <5> 福岡県の環境について、これまでの設問以外の意見（抜粋）

### <脱炭素社会>

- ・ カーボンニュートラルが大切です。再生エネルギーのコスト以外の「原発」、「火力」の発電コストの見える化が必要です。
- ・ 個人的な好みもあるだろうが、都市部の商業施設などのイルミネーションが過度だと思う。家庭の節電も大事だが、それよりも娯楽のための電力消費を抑える方が先だと思う。
- ・ 地熱発電など、金銭的な利益にはならないけど県民の利益になることを、県に推進してもらえればと思います。
- ・ 福岡県は、太陽光、風力、バイオ、潮流等の発電に対する取り組みをもっとすすめてほしい。また、これから家を建て替える時に太陽光発電をしても機材が劣化してしまうとむしろお荷物になってしまうおそれがあるので、将来個人に負担がかからないような発電方法に助成金をだして利用できるようにしてほしい。
- ・ 風力発電の話はあまり耳にしません。環境にやさしい風力発電にも更に注力してほしいと思います。
- ・ 福岡県（福岡市）の再生水利用の取り組み・拡大による節水型都市づくりの推進政策は大いに評価できると思う。

### <循環型社会>

- ・ ゴみのリサイクルの現状がわかりにくいので、もっと情報発信してほしい。家庭の水道水の水質に関する情報がほしい。
- ・ リサイクルについて詳しく知りたい。ごみの分別後、資源がリサイクルされていく過程。どの資源が何にリサイクルされ、私たちの生活に還元されているのか。具体的にイメージできれば、積極的にリサイクルしようという気持ちになる。ゴミを減らすことにおいても同様。具体的なイメージがわからないので、日常で気をつけようという意識が足りない。私達が出すゴミがどのように環境汚染に繋がるのか、具体的に映像や紙媒体で目にする機会が増えれば、多くの人が環境を守らなくてはと意識できるのでは。同時に、そうした汚染を防ぐためにできる簡単で身近な方法を知りたい。そうした日々の積み重ねが、やがて大きな成果となると思う。
- ・ 未だ「ごみの分別に関する認識」には個人差（家庭による差）があり、地域で決められた分別法を守っていないケースも少なくない。指定のごみ袋に入れてはいけないもの、あるいは該当するごみを具体的に印刷してくれたら分かりやすいと思う。
- ・ ごみのリサイクルが進み、リサイクル品の販売などがクリーンセンターで行われると、再利用やごみの見直しにつながり、クリーンセンターに足を運ぶきっかけにもなるため良いなと思います。
- ・ フードロスについて、もって県民ひとりひとり考えていかなければならないと思う。学校給食ごはんパンの残飯をどうにかできないものか。コンビニのお弁当もフードロスになっている。
- ・ プラスチックごみ削減には取り組んでいますが福岡県ではなく日本はまだまだ遅れていると感じます。商品購入時の梱包は何重にも包まれていたり、使い捨てのものも多く感じます。また洋服や物など必要以上にあふれている様に感じます。
- ・ 公共の施設でゴミ箱の設置が減ったのはやはり不便に思う。分別しやすくなるような面白い仕掛けのあるゴミ箱を設置してほしいと思います。
- ・ 道路にはゴミが多く、県民の意識は高くないと感じる。環境の状態をもっと細かく見える化して、県民の意識改革を進めてほしい。見える化については、CO2 排出だけではなく、ゴミの量、リサイクルされた資源の量など様々な指標を継続的にモニターすべき。

### <自然共生社会>

- ・ もっと緑を増やした方がいいと思います。育てていくのも大変ですが、シャッター街の商店街など店舗が入らないのなら草木を植えたりするのいいと思います。明るくすることで見映え

も変わってくるし、店舗同士つながってなければ火災が広がる所を止められる可能性もあると思います。

- ・ 自然環境（海、山）も近く、とても過ごしやすいと感じています。
- ・ 自然を破壊しないで。近年の大雨被害等を防ぐ対策を考えて実践して欲しい。
- ・ 福岡県は都会と田舎が程よく融合した地域だと思います。このような環境を守っていくことが私たちの役割だと思います。ただ、山林の保全や耕作放棄地問題などは限界集落の問題と合わせて、農業や林業として、自らの生業として守ってきた方々がいなくなる状況に歯止めがかからない人口動態だと思います。そのための解決策は長期計画を要します。市民への周知や同意も含め情宣活動や行動提起が必要です。
- ・ 海と山など、自然豊富な地理的環境を優位に活用した施策を進めて欲しい
- ・ 山を削り、ソーラーパネル設置しているのを見ると悲しくなる。山の動物が降りてきて困っている。シカや猿や、猪など。マダニの被害も困る。

#### <健康で快適に暮らせる生活環境>

- ・ 家庭ゴミの焼却がまだ行われています。ダイオキシンによる害はほとんど無いと言われていますが、焼却場での処理を徹底してほしい。
- ・ 去年の夏に関西から引っ越してきました。空気の悪さに驚いています。PM2.5 や黄砂の影響も大きいのもあると思います。さらに工業地帯からの煙なども重なりより大気汚染が気になります。県での大気汚染のお知らせはありますが、他にも取り組めるものがあればいいのになあとあります。
- ・ 水道水は危険と言われていますが、福岡県の水質は健康に害はないのでしょうか？黄砂のような不純物が毎日掃除しても、サッシやベランダに沢山くっついてます。身体に害はないのか不安です。
- ・ 盛土や産廃不法投棄などで県と市町村がもめるケースが多くあるように思われる。住民にとってはスムーズな改善が一番なので、速やかな解決を目指してほしい。
- ・ 工業団地について。工場近くの川の表面に虹色に光る油のようなものが浮かんでいるのが気になります。近くに田んぼもあるので安全性はどうなのか確かめるべきです。
- ・ 昔に比べて本当に空気が良くなり暮らしやすくなったと思います。道路のゴミも少なくなり、植栽の管理も行き届いています。

#### <国際環境協力>

- ・ 海外から黄砂が飛来していることに対する対策がどれだけでできているか不安だ。
- ・ PM2.5 なんかでくしゃみが止まらなかったり、目や皮膚がかゆくなったりする日があり、海外から流れてくる汚染された空気が得に気になり将来が不安になります。
- ・ 福岡県独自の環境問題に取り組む問題が見えてこない。実施事項が一般的であるためかも知れませんが、北九州市については海外への指導を含め強力で展開していると感じます。北九州独自と感じて県の関りが私には見えません。

#### <経済・社会のグリーン化>

- ・ 日本の潜在的な技術力からすれば、再生可能エネルギーの先端的な開発、利用、運営が世界をリードするくらいまで可能なはずですが、にもかかわらず、今では後塵を拝しています。もっと、積極的に官民が協力してこれに取り組んだ方がよい。食料もエネルギーも海外頼りというのは、将来ともに心もとない。
- ・ 質問です。福岡県では燃料電池車の普及やそのための水素ステーションの設置に積極的だと認識していますが、国内外の自動車メーカーの将来ビジョンでは、電気自動車やHV, PHV が主流になるのではないかと感じます。燃料電池車の燃料の水素は、現在は天然ガスなどを分解して製造するため、その際に二酸化炭素が発生することなどが、燃料電池車の普及が進まない原因のひとつではないかと思っています。水素の取り扱いや、水素ステーションの小ささも要因だと思います。福岡県の、燃料電池車の現実的な将来性について、どのようにお考えなのか、お伺い

いたします。

- ・ 福岡県初の電動化技術などを発信するためにより多くの企業に支援等を行えないのでしょうか。また、県独自の支援によってより多くの環境への配慮は行えないでしょうか。例えばレジ袋有料化によりどれだけのプラスチックや海洋ごみが増えたかはお存じでしょうか。レジ袋有料化ではなく、レジ袋不要の方にはポイント付与するなど県独自で行うことは不可能なのでしょうか。
- ・ 再生可能エネルギーについて、マスコミの意見では良いものなのか、実は悪いものなのか分からないところもありますので、どういう事で環境にいいのか簡単でいいので説明があると積極的に利用しやすくなるかと思えます。
- ・ 30年振りに東京から若松区に帰ってきましたが、風力発電のプロペラが響灘沿岸の至る所に設置されており大変驚きました。また埋立地には環境関連の企業が多数進出してきており、鉄鋼産業に代わる産業の柱として育成しようとする自治体の意気込みを強く感じた次第です。全国をリードする存在となってもらいたいと思います。

#### <持続可能な社会のための地域づくり・人づくり>

- ・ 水が綺麗なところが虫は住みやすいので、もっと川の清掃活動や虫の観察イベントを増やして欲しいです。虫以外に、動物の保護団体などにも支援をしてもらいたいです。
- ・ 環境に対する取り組みは公共団体、企業、市民と様々なレベルでおこなわれているためそれぞれがバラバラに活動しているようであり効率的とは言い難くどの取り組みも満足できるレベルにはないと思う。メディア等を効果的に使って市民への意識を高め市民発信型で、公共団体、企業が制度面、金銭面でサポートするといった形でともに力を合わせて対策を行うことでより良く効率的な対策がとれるのではないかと思われる。
- ・ 海岸のプラスチックゴミ、大きなゴミのうち拾えても、ポロポロとマイクロになったゴミを見ると、環境破壊が進行していくのが悲しくなる。幅広い世代への環境教育は何度でも繰り返し必要なのではないかと思う。
- ・ SDGs やエシカル消費等、環境問題への意識は爆発的に上がっている。ただ地域や集団による格差が大きいことも事実で、私自身も大学に通っていなかったら知り得なかった情報が山ほどある。私の以前働いていた焼肉屋は、鉄板を洗った汚れた水をそのまま外に流していた。このように、民間レベルではまだまだ環境への配慮が浸透していないのが現状だ。家庭で出来る環境保護もあるが、それよりも県内事業者に対して環境保全への理解を深める講習会のようなモノを実施すべきだと考える。
- ・ たばこやごみのポイ捨てが減らない事に無力さを感じている。街の清掃活動を自治会等で日常的に取り組みする支援システムの開発が必要だと痛感している。
- ・ 以前に比べて一人一人の環境に取り組む姿勢に変化がみられたように感じます。しかしまだまだ理解を深めるためには新聞やテレビなど媒体を通して伝える必要性を感じます。
- ・ 福岡の環境は海も山も近く綺麗で自慢です。今津には水鳥も多いです。綺麗な町を維持したいし、ゴミ拾いなどイベントには子どもと一緒に参加したいです。教育にも環境は社会などで取り上げて欲しいテーマです。
- ・ 環境について、親子で学べる参加出来るイベントを今もされてはいるとは思いますがもっと増やして頂きたいし、宣伝をどんどんして頂けたら助かります。
- ・ 私の家は住宅地ですが、散歩のついでにゴミ拾いを時々します。凄くゴミが落ちていました。一見綺麗に見えるにですが、歩道の植栽の所にペットボトル、缶、マスクなどが捨てられていました。一人一人の環境に対する意識が大切だと思います。
- ・ 福岡県は大都市を複数持つにもかかわらず、かなり環境の良い県だと思います。そのベースは、県としての取り組みがきちんとされているからでしょう。また、商業地と自然環境がごく近い所にあることも好条件です。ただ、逆に言うと、あまりによい環境なので、その価値を意識しなくなる、または、貴重だと思わず育つ、可能性があるのではないのでしょうか。その意味で、今の福岡県の環境の状況（良さ悪さ）をきちんと伝え続ける必要があると思います。難しいとは思いますが、地域、学校において、建前論ではなく実感として学べることを考えていただけ

るとありがたいです。

#### <その他>

- ・ 環境を守る活動が少しずつ浸透してきているなどは感じますが、まだまだだと思えます。コンポストやベランダ菜園に補助を出してもらえたらしたいなと思っているのでお願いしたいです。
- ・ 普段、環境が良くなったという実感があまりない。どういう取り組みを行なっているのかも分からず、実感できる部分がない。案内、周知の徹底を進めるべき。
- ・ 福岡県環境総合ビジョンを読ませてもらいましたが、今回このような機会を頂けなければ読むことはなかったと思えます。逆に考えれば、一般の方はほぼ読まないということだと思えます。SDGs は大切だと思えますが、無理やり組み合わせているような気もします。環境を守るには一人一人の意識改革からだと思えます。児童生徒たちには、学校現場と協力して環境を守る教育を行っていく。公民館を通して、廃品回収や環境保全の講座を行っていく。太陽光発電、コンポストなどを設置した家庭には補助金を出していくなど地道な活動を行っていくことが大切だと思えます。できれば、企業にも講演活動を行って、企業そのものの意識はなかなか変わらないと思えますが、従業員個人に対して環境保全活動の大切さを知らせるのはどうでしょうか。SDGs の達成もまずは重点項目が必要なのではないのでしょうか。
- ・ 環境破壊(盛り土、外来生物…)と異常気象の問題。この時期、線状降水帯による被害、防災意識、行動など、課題が多い。
- ・ 10 年前に福岡に引っ越してきましたがあまりの変化に驚きました。急激な人口増加で環境とか自然とかに少し遠のいているような感じもいたします。街の中心だけかもしれませんが。
- ・ 環境については科学的エビデンスが弱かったり、数値データの不足にも関わらず、環境と言われると反対しづらい気持ちによる規制の増加が納得いかない。電気代の高騰と再エネ賦課金、森林環境税、レジ袋有料化など、県民の負担も大きく、SDGs の 1 と 2 の実現の足枷になっているものも多い。低農薬、低肥料などで生産量が落ちるといふ農家の話も聞く。そもそも自由な経済活動の妨げになっている。環境における事務事業で、数量的評価ができるものがあるのか。結果を確実に公表してほしい。
- ・ 環境問題対策活動やリサイクル活動は、10 年前に比べて非常に活発だと思えます。もっと、個人に落とし込んで活動することができると思えます。設問から脱線するかもしれませんが、野菜や果物のロス問題も環境に関わることだとして、消費者は見た目重視で商品を選ぶ意識が高いと思えます。これは、個人の消費者が悪いのか卸業が悪いのか分かりませんが、非常に違和感を覚えます。私が兼業農家出身だからかもしれませんが、野菜や果物等の農産物は、精魂込めて育てたものは美味しいです。見た目ではありません。規格外だから出荷できないとか、規格外だから金額が下がる等よく聞きます。見た目良い野菜や果物を購入しても、切ったり皮を剥いたりして調理するので意味がありません。逸脱して申し訳ございません。
- ・ 環境を考えての取り組みで他の問題が起こっていることも多いため、環境に良いことよりも優先すべきことはないか、本当にそれは環境に良いのかを考え、納得できる根拠を持った上で実践してほしい。
- ・ 「福岡県はここを頑張っています！」とアピールする環境改善マップを作成して配布しまくる。大手百貨店やショッピングモール等で「手渡し配布」するのが良い。
- ・ 福岡県の環境保全に関する取り組みは、意識すれば広報・報道等において感じ取れるものがあると思えます。環境は次世代につながる非常に大事な物事であり、真摯に取り組まなければならない問題でもあります。そのためにも福岡環境総合ビジョンにあるような、具体的に見える形の目標を掲げることは、まず第一に取り組むべき事象として賛同します。



<6> 満足・不満足に関する回答の経年変化<sup>注)</sup>

<脱炭素社会の推進>

- ・ 「再生可能エネルギーの活用」「省エネルギーの取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<循環型社会の推進>

- ・ 「ごみの管理・処理」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「資源の有効利用」「リサイクル」に対する満足度は、令和4年度は昨年度に比べると増加しています。

<自然共生社会の推進>

- ・ 「身近な自然との触れ合い」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「豊かな自然の恵みを活かす社会経済活動」や「希少種や里山を守る取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<健康で快適に暮らせる生活環境の形成>

- ・ 「水の汚染」「空気の汚れ」「住まいの周りの静かさ」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進>

- ・ 「産業での環境に配慮した取組」「家庭や会社での環境配慮型製品の選択」「環境関連技術・産業」に対する満足度は、いずれも近年上昇していましたが、令和4年度は昨年度に比べると減少しています。

<持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり>

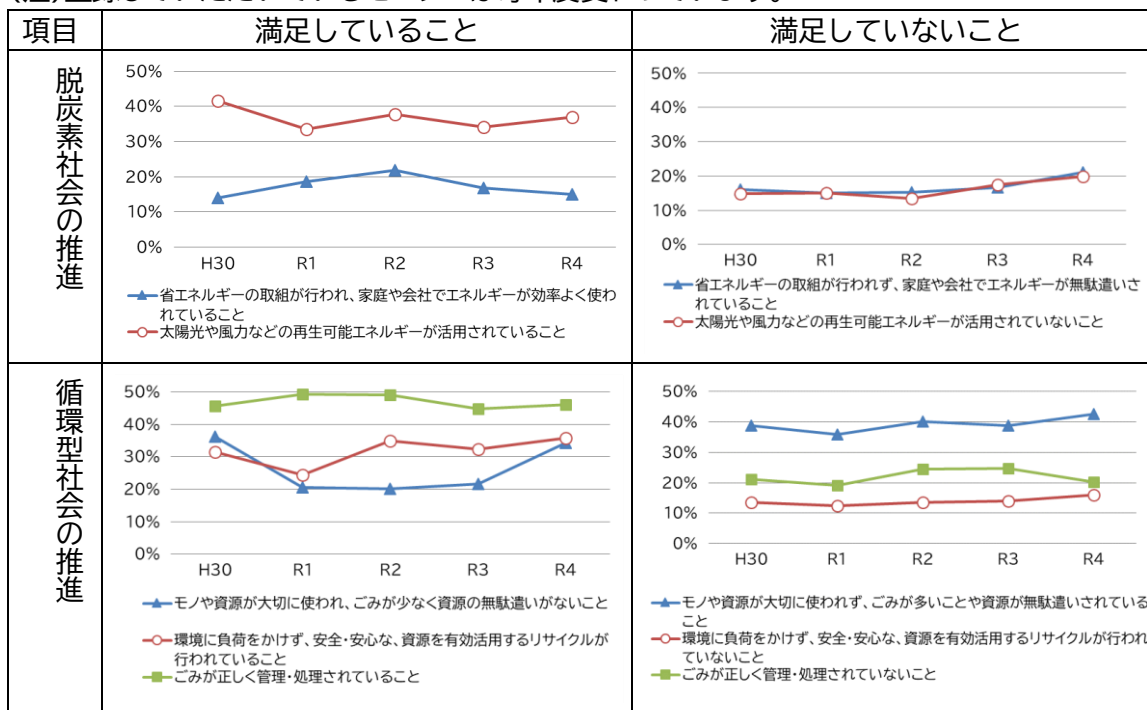
- ・ 「環境配慮行動」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

一方、満足していないと感じる割合については、「<循環型社会の推進>モノや資源が大切に使われていないこと」では比較的高く推移しています。

また、<健康で快適な生活環境>「空気や空気が汚染されていないこと」では比較的高く推移していますが、近年減少傾向にもあります。

これらの項目については、今後の環境に関する取組の進め方に活かし、県民への情報提供や普及啓発に取り組んでいく必要があります。

(注)登録していただいているモニターは毎年度変わっています。



<p>自然共生社会の推進</p>	<p> <span style="color: blue;">▲</span> 豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること  <span style="color: red;">○</span> 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること  <span style="color: green;">■</span> 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること         </p>	<p> <span style="color: blue;">▲</span> 豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること  <span style="color: red;">○</span> 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと  <span style="color: green;">■</span> 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと         </p>
<p>健康で快適に暮らせる生活環境の形成</p>	<p> <span style="color: blue;">▲</span> 空気や空が汚染されていないこと  <span style="color: red;">○</span> 水が汚染されていないこと  <span style="color: green;">■</span> 住まいの周りの静かさ         </p>	<p> <span style="color: blue;">▲</span> 空気や空が汚染されていること  <span style="color: red;">○</span> 水が汚染されていること  <span style="color: green;">■</span> 住まいの周りの静かさが保たれていないこと         </p>
<p>経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進</p>	<p> <span style="color: blue;">▲</span> 様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること  <span style="color: red;">○</span> 家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること  <span style="color: green;">■</span> 環境関連の技術や産業が向上・発展していること         </p>	<p> <span style="color: blue;">▲</span> 様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと  <span style="color: red;">○</span> 家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと  <span style="color: green;">■</span> 環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと         </p>
<p>持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり</p>	<p> <span style="color: blue;">▲</span> 誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること  <span style="color: red;">○</span> 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること         </p>	<p> <span style="color: blue;">▲</span> 日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと  <span style="color: red;">○</span> 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと         </p>

